

(別紙4(2))

社会福祉法人幼老育成会
事業所名: 小規模多機能ホーム サクラ白木

目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者及び、利用者家屋の訪問時や、電話連絡等の言葉をそのまま記録に残すことにより、介護計画をより充実したものにする。	利用者や、家族の意見や、希望をもっと含めた介護計画の作成。	ご本人、家族の意見ノートを作成し、訪問時や、電話連絡時など記録を残すようにする。	2ヶ月
2	35	消防計画はあるが、防災計画がない。備蓄品が準備されていない。	防災計画の作成。備蓄品の用意と、備蓄一覧表の作成。	参考資料を見つけ、当事業所独自の計画を作成する。また、備蓄品に関しては、上司相談の上早急い検討していただく。	3ヶ月
3	35	現在、重度利用者が不在だったこともあり、重度利用者の避難訓練を想定していない。	職員全員が対応できるようになる。	市や消防署が行っている研修を受け、研修を受けた職員が伝達し、周知徹底する。	6ヶ月
4	35	利用者一覧表に個人が分かる写真がない。	誰が見てもその方が現状態も含め認識できるような一覧表の作成。	写真の必要性をご本人・家族へ説明し、撮影を行う。	3ヶ月
5		脱衣所の電気ストーブが小さすぎ、浴室と脱衣所の温度差が大きくなっている。	浴室と脱衣所の温度差をなるべくなくす。	上司報告し、購入許可をいただく。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。